

ソング 「我等の生業」

来訪ロータリ (2月18日分) → 2/7,8地区大会

アン報告 山田 昇 様 (姫路東R.C.) 松岡 和治 様 (姫路南R.C.)
 塩谷 宜資 様 (姫路南R.C.) 吉野 裕之 様 (姫路中央R.C.)
 小林 敬一郎 様 (姫路中央R.C.) 伊賀 正徳 様 (姫路中央R.C.)
 本田 浩祐 様 (姫路中央R.C.) 脇谷 政孝 様 (高砂R.C.)
 坂牛 八州 様 (高砂R.C.) 萬山 忠彦 様 (高砂R.C.)
 西 裕次 様 (高砂R.C.)

出席報告 2月4日 会員数49名 欠席者1名 出席率97.96% <修正による>
 2月25日 会員数49名 欠席者9名 出席率81.63%

Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川ロータリークラブ	3クラブ合同例会のため	3/9(火)⇒3/11(木)午後6時～ 於:加古川プラザホテル
加古川中央ロータリークラブ	3クラブ合同例会のため	3/11(木)12:30⇒午後6時～ 於:加古川プラザホテル
加古川平成ロータリークラブ	3クラブ合同例会のため	3/10(水)⇒3/11(木)午後6時～ 於:加古川プラザホテル
明石ロータリークラブ	休会	3/31(水)
明石北ロータリークラブ	休会	3/30(火)
姫路東ロータリークラブ	西播第一グループI.M.に変更	3/15(月)⇒3/18(木)
〃	花見例会に変更	4/5(月)⇒4/6(火)
〃	潮干狩り例会に変更	5/10(月)⇒5/9(日)
〃	大阪国際大会に変更	5/24(月)⇒5/23(日)
〃	親睦旅行&ゴルフに変更	6/14(月)⇒6/12(土)
姫路南ロータリークラブ	西播第一グループI.M.のため	3/15(月)⇒3/18(木) 於:姫路キャッスルホテル
〃	移動例会	3/22(月) 於:姫路市医師会館

会長 田水敬雄 幹事 内橋英昭 クラブ会報委員会 大橋卓司
 例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)
 事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話(0794)43-0500(代)

高砂青松 Rotary Club
 The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



「坂の上の雲」 (司馬遼太郎)

唐津 巳喜夫

昨年、司馬遼太郎の「坂の上の雲」を読んだ。文庫本約400頁×8冊=約3,200頁の長い小説である。

主題は、作者自身の言葉によれば「日本人とは何か」であるが、物語の大部分は日露戦争であり、日露戦争で活躍した陸軍の秋山好古と海軍の秋山真之兄弟、真之の幼なじみ、俳句の正岡子規を絡ませた話である。

なんの趣味も持たない私が、唯一子供のころから続けていることは本を読むことである。手当たり次第にいろいろな本を読んだが、この年になって初めて読んだこの「坂の上の雲」は、今までに読んだどの本よりも面白い本である。戦争の話なので「面白い」という感想は不適當かもしれないが、大変感銘を受けた本という意味での「面白い」である。

最近の文芸春秋で、この本のことを取り上げているが、その記事によると、200人近い識者にアンケートし、20世紀にかかれた本のなかで、後生に残すべき作品のランキングをつけたところ、第1位に選ばれたのが、この「坂の上の雲」だったそうである。ちなみ

に、2位は西田幾太郎「善の研究」、3位が夏目漱石「我が輩は猫である」。

学校での日本史の授業は、古代の縄文式土器の話から始まって、江戸時代頃まできたら時間切れで終わりというパターンだったと思うが、不思議なことに現在の20才台の若い人に聞いても同じことをいう。ということは比較的身近なはずの明治時代が日本人の知識から消え去っていることになる。

この本は、近代日本の基礎構築時代の日本、世界における日本の姿が手に取るように解る。

さて、この本の中身であるが、その大部分は日露戦争の「記録」である。

日露戦争といえば旅順攻撃、203高地、そして日本海海戦ということになるが、この辺のことが驚くほど詳しくかかれている。しかもロシア側からの記述も大変詳しい。

主な登場人物は、満州軍総司令官 児玉源太郎、第三軍司令官 乃木希典、連合艦隊司令長官 東郷平八郎等とその参謀たちであり、1人でヨーロッパ中を走り回り諜報活動をした明石元二郎である。ロシア側はバルチック艦隊司令長官 ロジェストウエンスキーとその部下たちである。

ご存知のとおり、陸軍の203高地攻撃は大変な苦戦で、多くの犠牲を出し、最後には児玉源太郎が指揮をとってかろうじて占領したのであるが、日本海海戦は世界中の予想に反して、殆ど完全試合ともいえるほど日本艦隊の完勝であった。その勝因は、参謀の秋山真之が練りに練った作戦と、それを敢然と実行した東郷元帥の決断力であったという状況の記述がこの本のクライマックスである。

この時期には神風論、精神主義論等はなく、それらは、この戦争以後日本軍部に生じ



た錯覚で、この錯覚が後に日本を破滅寸前までにした、と司馬遼太郎は書いている。

この本を読んでいる間、ずっと不思議に思ったことは、あまりにも克明に状況が描かれているので、これが小説だろうかということ、誰がこれだけのことを調べる手伝いをしたのかということだったが、本の最後に著者自身の「あとがき」があり、その中で「この作品は、小説であるかどうか、じつに疑わしい。ひとつは事実には拘束されることが100%にちかいかからであり、・・・」と書いている。また「この作品世界の取材方法についてだが、あれは全部御自分で調べになるのですか、と人に問われたことがあって、啞然とし

たことがある。小説の取材ばかりは自分一人でやるしかなく、・・・」とも書いている。

この小説は昭和43年4月から47年8月まで足かけ5年間「サンケイ新聞」夕刊に連載されたもので、司馬遼太郎自身、「取材に5年、執筆に5年、私の最も充実した40代の10年間を、この作品の為に費やした」という意味のことを書いている。

日本の開国が日米和親条約を結んだ1854年、ちょうど50年後の1904年に、この日露戦争。その50年後の1954年現在の自衛隊創設、それから50年後の今年2004年イラク出兵。何か因縁めいているようですが、この機会に是非「坂上の雲」の御一読をお勧めします。

President 会長の時間

先日神戸ポートピアホテルにおいて開催されました地区大会には、全員の会員に登録していただきありがとうございました。また、ご出席くださった方には大変ご苦労様でした。

当日のプログラムと一緒に全員に2枚のメイキャップカードが付いています。当クラブは、今大会は例会変更扱いとなっておりますので欠席でもこのカードが当るのは矛盾しているように思いますのでちょっと触れておきます。

この大会で心に残ったのは、映画「森の学校」でした。昭和10年代初頭の静かな城下町丹波篠山を舞台に、群れて遊ぶ子供の世界、子供と家族のあり方、子供達と地域社会との関係、こうした中で子供の命の大切さ、家族のありがたさ、まわりの人達との係わりなどを身につけながら逞しく成長して行く姿を描いた映画で思わず涙をさそいました。

もう一つ、特別講演 篠山市生まれの文化庁長官 河合隼雄氏による「日本文化とグローバリゼーション」。国内外での豊富な経験をお話してのお話しを全く退屈させないで興味深くおもしろく聞かせていただきました。

最後に次年度の年次大会は、神戸須磨ロータリークラブのホストで神戸ポートピアホテルにおいて開催されることが、大会決議で決定されました事を報告いたします。

Secretary 幹事報告

第26回 通算1180回

1. 理事会報告 週報参照
2. ガバナーの本山様、ホストクラブ会長の後藤様、大会委員長の西尾様より地区大会ご参加のお礼状が届いております。また5月に開催されます国際大会への参加をはじめ任期後半も活性化がはかれますようにと、ご挨拶が届いております。
3. 例会変更
 - 加古川ロータリークラブ
 - 3月9日(火) ⇒ 3クラブ合同例会のため
 - 3月11日(木)午後6時～於：加古川プラザホテル
 - 3月23日(火) ⇒ 休会
 - 加古川中央ロータリークラブ
 - 3月11日(木) ⇒ 3クラブ合同例会のため
 - 午後6時～於：加古川プラザホテル
 - 3月25(木) ⇒ 休会
 - 加古川平成ロータリークラブ
 - 3月10日(水) ⇒ 3クラブ合同例会のため
 - 3月11日 PM 6時～於：加古川プラザホテル
 - 明石ロータリークラブ
 - 3月31日(水) ⇒ 休会
 - 明石北ロータリークラブ
 - 3月30日(火) ⇒ 休会
 - 姫路東ロータリークラブ
 - 3月15日(月) ⇒ 3月18日(木)
 - 西播第一グループI.M.に変更
 - 4月5日(月) ⇒ 4月6日(火) 花見例会に変更
 - 5月10日(月) ⇒ 5月9日(日) 潮干狩り例会に変更
 - 5月24日(月) ⇒ 5月23日(日) 大阪国際大会に変更
 - 6月14日(月) ⇒ 6月12日(土)
 - 親睦旅行&ゴルフに変更
 - 姫路南ロータリークラブ
 - 3月15日(月) ⇒ 3月18日(木) 西播第一グループI.M.のため
 - 於：姫路キャッスルホテル
 - 3月22日(月) ⇒ 姫路市医師会館

Donation ニコニコ報告

鹿間 虹美

梅の花も咲いて大分春らしくなってきました。

唐津 巳喜夫

今日は、卓話をさせていただきます。どうせたいした話ではありませんので居眠りしてもらっても結構ですが、アクビだけはしないで下さい。

内橋 英昭

2月7日、8日の地区大会には体調不良の為、出席できなくて申し訳ございませんでした。5月の国際大会には、必ず出席いたしますので、よろしくお願い致します。

et cetera 委員会報告

連続出席会員表彰 (地区大会)

- ・25年 三宅禮三、鹿間虹美、中谷利幸、藤本 顕、西田光衛、京谷慎平、大森千里
- ・20年 小西文孝

新世代委員会 (中右委員長)

- ① 新世代会議の冊子が出来上りましたのでお配りします。
- ② RYLAの申込みメ切が迫ってまいりました。

プログラム予定

2月25日(水)	3月3日(水)	3月10日(水)	3月17日(水)
卓話 唐津巳喜夫会員	社会奉仕委員会 担当	高砂R.C.との 合同例会 於：高砂神社会館	卓話

内海 薫

大森先生、先日は丁夫妻が大変お世話になりました。ありがとうございます。早退します。

澤田 孝彦

すみません。早退します。

小西 文孝

早退します。

志野木 貞夫

早退します。

